

第 23 号
平成29年 7月 5日 発行

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404

山形県鶴岡市下名川字落合 3

TEL : 0235-58-1730

FAX : 0235-58-1731

E-mail:t_syounai_f@maff.go.jp

Home Page:http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/

朝日庄内の風

保護林の看板整備

朝日山地森林生態系保護地域は平成15年3月に設定され、保護林の設定に伴い生態系保護地域の目的や取組を説明した看板を登山道の入口等に設置して管理してきましたが、経年設置に伴い支柱の腐食、説明文が判読しづらい、積雪による損傷等が進んだことから、痛みの著しい看板の立替えや入込者が少ない箇所での看板撤去を今年度着手しました。



腐朽等が進んだ看板



新たに設置した看板

今までの看板は天板までの高さ約3mで通年設置していましたが、新しく作製した看板は、高さ約1.6mで無雪期のみ設置することとしました。

新しい看板の作製にあたっては、乗用車で運搬ができる大きさ、職員による設置や撤去が容易な構造、重さを考慮して行い、説明内容については、巡視員会議での意見を踏まえ、ペットを連れてくる登山者やストックによる掘り起こしへの対応するため、「ペットの持ち込みはやめましょう」、「ストックにはプロテクターを付けましょう」等の入林マナーを付け加えました。

朝日山地における天然

「植生調査」

6月13日（火）、昨年からはまった取組ですが、今年度も調査プロット（20m×20m×2箇所）内の林床植生調査を山形大学農学部 菊池准教授及び学生7名の協力を得て調査を実施しました。

昨年、調査木の根元に取付けたプレートを確認しながらの作業は、思いのほか、落葉や枯草に埋もれており大変な作業となりましたが、学生の皆さんの根気良い作業により、予定した時間内にすべての作業を終えることが出来ました。

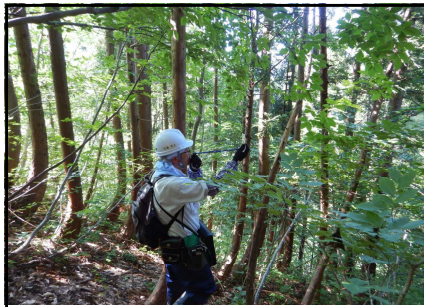
まだ、調査2年目ということもあり、明確な変化は見られませんでした。更新補助作業の未実施箇所ではツルの繁茂により生長阻害が始まっていました。



樹種の同定と生長調査

朝日山地における天然生林への誘導

「林況調査」



林況調査の様子

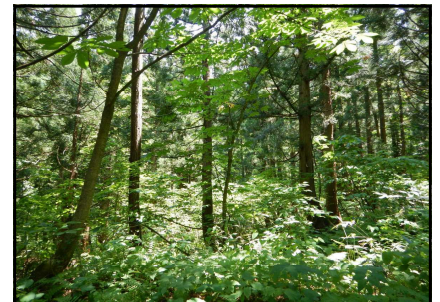
山形県と新潟県に跨がる朝日山地森林生態系保護地域（区域面積は約70千ha（うち山形県内は48千ha））内の山形県内には人工林が約270haが含まれ、その取扱いは「育成複層林施業等針広混交林化を図るために必要な施業を行い、将来は天然林に導く。」こととしています。

今年度新たな取組として個々の人工林について、搬出路の有無や広葉樹の侵入状況を調査・把握し、箇所ごとに今後の施業について検討を行うこととしています。

具体的には、次の4つに区分し今後の

森林計画への反映等について、関係森林管理署と検討を行う予定です。

- ①主伐及び間伐を行い針広混交林へ誘導する箇所（路網あり）
- ②間伐（伐り捨て）を検討する箇所（路網なし）
- ③すでに針広混交林化しており自然の推移に委ねる箇所
- ④すでに天然生林化している箇所



広葉樹が侵入している箇所

みどりの保育園

（クロマツ探検隊Ⅰ）

5月11日（木）、山形県酒田市宮海の西荒瀬保育園に隣接する庄内海岸林（新林国有林）で、クロマツ探検隊Ⅰを年長組園児22名、保育士4名、当センター3名、計29名で実施しました。

当日は朝まで雨が残りイベントの開催も心配されましたが、出発時には雨が上がり予定どおり行われました。

探検出発の前にルールを説明した後、全員で「エイ！エイ！オー！」と大きな声をあげ出発。

クロマツ林探検では、クロマツの年齢の見方、昔は砂地であった場所にクロマツの苗を植え育てた経過やクロマツの役割、花の説明や名前の由来、危険な植物（ツタウルシ）、マツクイ虫被害、森の中では元気が出る（フィトンチッド）、クロマツが斜めに立っている理由等の説明を行いました。野鳥の観察では、各園児が双眼鏡を使って野鳥（アオサギ等）観察や高倍率の望遠鏡を使ってアオサギがクロマツで抱卵している様子を確認しました。

森の中の宝物（草花）を摘み取って、保育園に戻ってから万華鏡に思い思いに花びら等を入れて楽しみ、次回の「みどりの保育園」で再会することを約束し終了しました。



探検隊出発式



クロマツが斜めの説明



アオサギの観察



万華鏡づくり

みどりの保育園

（きのこ駒打ち） 4月27日（木）、酒田市宮海西荒瀬保育園で保育園に隣接する遊々の森「しんちゃんの森」において園児が「きのこの駒打ち」（シイタケ30本、ナメコ20本）に挑戦しました。当日は晴天に恵まれた中で、年長組園児22名、保育士5名、センター職員3名の総勢30名で実施しました。



みんなでほだ運び

センター職員から駒の打ち方や注意事項の説明を受けた後、5班に分かれ駒打ちに取りかかりました。最初は、菌駒を真っ直ぐに打てずセンター職員や保育士に手伝ってもらいながら行っていましたが、次第にコツを覚えスムーズに駒打ちができるようになりました。

駒打ちが終わったほだ木は、園児が協力して木陰へ運んで「おいしくな一れ」、「おおきくな一れ」と声を掛け、収穫を楽しみにしていました。



駒打ちの様子

朝日山地生態系保護地域（管理委員会、巡視員会議）

「管理委員会」 5月30日（火）、山形市の山形県自治会館において、平成29年度の朝日山地森林生態系保護地域管理委員会議を開催しました。議事に先立ち、菊池座長（山形大学農学部准教授）から、



挨拶する菊池座長

「朝日山地ほど色々な活動がされている保護林はない。それは、地域関係者の皆さんが一堂に会し、極めて具体的、実質的な議論が交わされ、それが保全活動に活かされてきたからだと言える。本日は保護林制度の改正を踏まえ、本委員会の今後の方向性が問われる重要な会議となる。きたんのない意見をお願いしたい」と挨拶がありました。

議事に入り保護林制度の改正については、簡素で効率的な管理体制を再構築し、既存の委員会は整理統合を図り一元的な保護林委員会を立ち上げることとなった。しかし、朝日山地森林生態系保護地域管理委員会については、保護林管理委員会の部会として設置する方向が示され、来年4月の発足に向け調整していくことが確認されました。

また、報告事項では、森林生態系保護地域内の人工林から天然林誘導に向け、箇所ごとに現況を把握し、今後の施業について検討を行う。巡視時にニホンジカの確認した場合は、活動報告に記載してもらうとともに、関係機関、団体等と情報を共有しながら、引き続き取り組んでいくこと等を確認しました。

さらに、その他の事項として、環境省羽黒自然保護官より、昨年からの建設中の以東岳避難小屋が今年9月に完成予定であることが報告されました。

「巡視員会議(春季)」 夏山シーズン前の6月10日（土）、鶴岡市の朝日中央コミュニティセンターで巡視員会議を開催しました。新たに登録された巡視員（2名）への委嘱状の交付の後、今年度の巡視活動方針等について意見交換を行い巡視員との合同パトロールの取組強化なども含め、引き続き朝日山地の保全・管理へのご協力をお願いしました。



委嘱状の交付

庄内海岸林整備



下刈作業の様子

庄内海岸林は山形県の北西部、日本海に面した位置にあり、北は遊佐町吹浦から南は鶴岡市湯野浜に至る延長33km、巾約2kmと長大なもので、その面積はおおよそ2,500haにおよんでいます。その庄内海岸林の保全活動を地元自治体や各団体等が積極的に行っており、当センターも主催者からの要請を受け、作業方法や安全指導の支援を行っています。

5月20日（土）山形県鶴岡市千安京田の「旧いこいの村庄内」のクロマツ林において、「JTの森 鶴岡」が主催した森林整備を行いました。

「JTの森 鶴岡」は、日本たばこ産業（株）が森林保全活動としてと山形県、鶴岡市、下川生産森林組合、出羽庄内森林組合と協定締結し、鶴岡市で森林保全活動を行っており、今回で14回目の開催となります。参加者は、募集で参加した市民（鶴岡市、仙台市）やJT社員、作業を指導する林業関係者で約170名が参加しました。今回の森林整備はクロマツ林の下草刈りを行うため、下刈り鎌の取扱方法や作業間隔、ツタウルシや毛虫（ドウガ）への注意喚起、水分補給等の指導を行ってから実施しました。

下刈り鎌を初めて使用する者が殆どで、最初は大振りしたり、力任せに振っていましたが、作業が終わる頃には鎌の扱いにも慣れた様子で、無事怪我もなく終了しました。

朝日連峰山開き

6月18日（日）に朝日連峰山開きに伴う安全祈願が鳥原小屋（標高1,335m 山形県大江町）で行われ、関係機関や一般登山者が集い今シーズンの安全を祈願しました。当日は、ブナ峠登山口からセンター職員3名で入山しました。この登山道は雪解け水で増水した川を何度か徒渉するルートですが、今年は増水も少なく徒渉する必要もなく登ることができました。

朝日連峰の安全祈願が終わると、いよいよ本格的な山シーズンの到来です。今年も無事故・無災害を目指し、職員一同気を引き締めて業務に従事したいと思います。



安全祈願

編集後記

今年度の事業実行にあたっては、事前の安全確認や緊急連絡体制の整備を再徹底し、また、巡視員会議では救急法講習会を開催して、安全対策に重点をおいた取り組みを行っています。

昨年と比べ雪解けが遅く現地へのアクセスが遅れましたが、6月までに予定したイベント、会議等の行事は無事実行できました。

なお、各イベントの実施結果につきましては、当センターのHPに掲載しています。

(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/index.html>)